

## 第2回 保育研修会 大富幼稚園

令和2年10月6日(火)

- <保育者> 4歳児担任 森田 愛美 教諭 村松 恵子 補助教諭  
<研修テーマ> 友達とかかわり合いながら夢中になって遊ぶ子を育むための環境や援助の工夫をする  
<ねらい> ・教師や友達と繰り返し遊びことを楽しむ。  
・いろいろな遊びに興味をもち、伸び伸びと体を動かすことを楽しむ。

### 活動のひとこま ～せんせいといっしょに～



ねえねえ  
おにいさんち  
何して遊んでるの？



大富小学校と隣接しているので、小学校の休み時間になると、フェンス越しに自然にかかわる姿が見られます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入園が遅れた4歳児。ようやく5か月が過ぎました。まだ“先生と一緒に楽しい”“先生といると安心”という子が多く、園庭には大好きな先生を呼ぶ4歳児の声が響いていました。

入園当初は不安そうな表情だったYくんもこの数ヶ月ずっと先生が寄り添ってくれたので、大好きな遊びを見つけてこの笑顔です。少しずつ友達とかかわる姿が見られました。

先生から少しずつ友達とも



いっしょに  
乗ろうよ～

先生とたくさん遊び、思いをたくさん聞いてもらった子は、少しずつ世界を広げて友達とのかかわりが楽しくなってきます。

事後研修会（講師：静大教授 田宮 縁氏）



- ・「環境を通して行う幼稚園教育」では、子どもは環境との相互作用で総合的に学ぶ。従って、環境設定がとても大事である。子ども同士がイメージを共有する一助になる、「つい～したくなる」そんな子ども目線での環境設定の工夫を心がけたい。
- ・夢中になって遊んでいる子は、片付けの合図で即座に切り替えることは難しい。歳児によっても遊びの深さは異なっているので、一斉に片付けを知らせるのではなく、活動の時間を保障したい。



事後研修会では、保幼小、公私様々な立場からの視点で、熱心な協議が行われました。